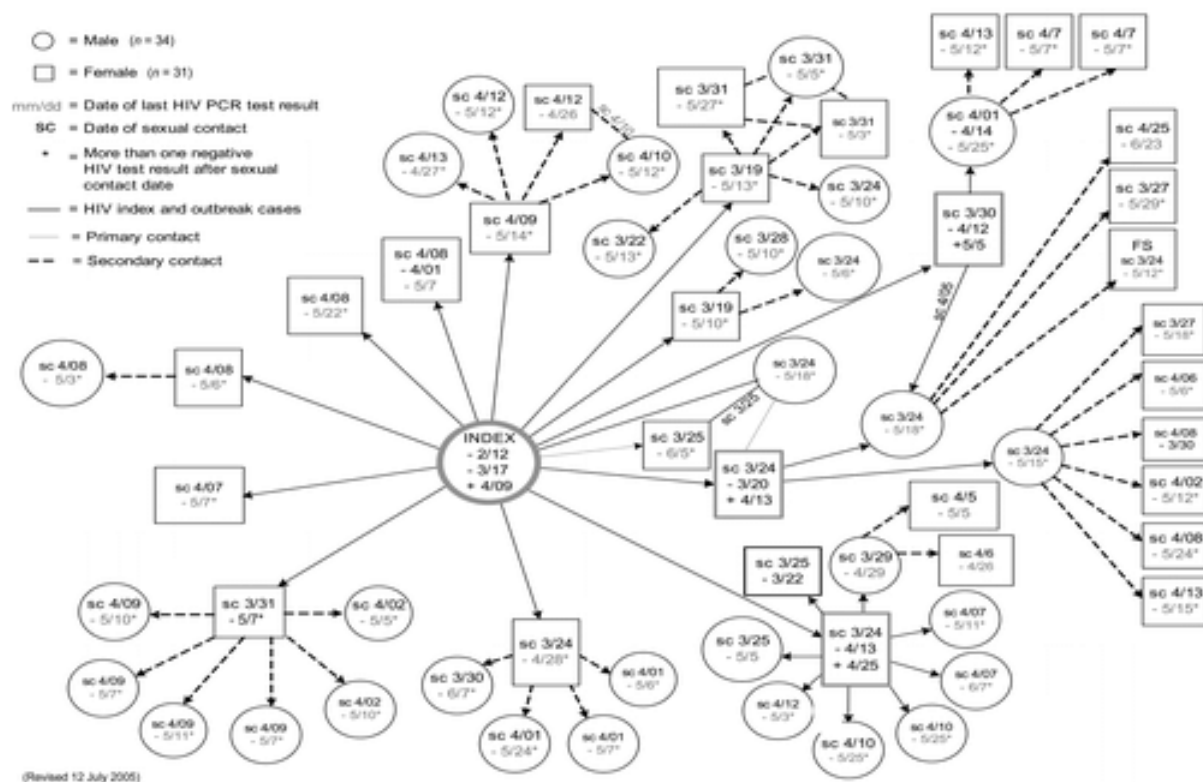


＜職場を対象にした調査＞

アダルト映画産業の職場での HIV 感染の集積の疫学的調査、カリフォルニア、ロサンジェルス、2004

米国カリフォルニア、ロサンジェルス(LA)で 2004 年 4 月にアダルトビデオの制作にかかわる HIV 感染者が、毎月行われている定期 HIV 検査で見つかった。アダルト産業医療健康基金は、1 次、2 次的な性的接触者が全員 HIV のカウンセリングと検査を受けるまで、全てのアダルト映画製作の中止を指示し、LA の保健所に報告し、保健所は調査を開始した。保健所はカリフォルニア職業安全健康機関、国立 HIV・STD・結核予防センター、国立職業安全健康研究所と連携し、症例インタビュー、アダルト産業医療健康基金の患者情報チェックと HIV カウンセリングと検査のプロトコールの確認、感染者の分子疫学的解析、俳優や映画製作者 50 人程度に対する聞き取り調査、関係者の個人防護具の使用や一般的職場環境についての証言を見直した。インデックスケースは 40 歳男性で 2 月 12 日の検査では PCR で HIV DNA 陰性、4 月 13 日からブラジルに行き撮影をしたが、その最中にインフルエンザ用症状を発症、3 月 10 日に米国帰国後に受けた 3 月 17 日の検査では陰性であったが、4 月 9 日に受けた検査で陽性となった。彼は仕事以外での性交渉は持っていないと申告したが、その間に仕事で 13 人の相手と性交渉を持ち、うち 3 人の女性が HIV 陽性と判明した。2 次的な性交渉の相手を含めて計 61 名が浮かび上がってきたが、最後の性交渉から数えて 30 日後までに他に感染者は見つからなかった。コンドームは撮影現場では殆ど使われておらず、曝露後の HIV 感染に対する予防内服も殆どの人間が知らなかった。保健所はこの産業に対しオーラルセックスを含むすべての性交渉の時の強制的コンドームの使用、雇用者が費用を出す HIV その他の性感染症の定期検査と医療、A,B 型肝炎に対して免疫を持っていない俳優への予防接種、全俳優に対する性産業のリスクに関する強制的な教育と訓練をしていくことを指導した。

Figure 1 Adult film industry outbreak contact and transmission map, Los Angeles County, California, 2004



Taylor MM, Rotblatt H, Brooks JT, et al. Epidemiologic investigation of a cluster of workplace HIV infections in the adult film industry: Los Angeles, California, 2004. Clin Infect Dis. 2007 Jan 15;44(2):301-5.

<性産業の場所を対象にした調査>

セックスパートナーの会合場所を標的にした市中梅毒アウトブレイクへの対応

米国バルティモアで 2000 年 12 月、初期梅毒患者 2 名がある通りで売春していたと報告した。次の 2 ヶ月間に初期梅毒患者と診断された 5 名が同じ通りで合計 9 人と売春による性交渉をもったと申告した。マッピングが行われ、売春が行われていた 12 ブロック四方の危険地域が割り出された。この地域は商業、住宅施設が混在しており、バー、市場、レストラン、教会が混在していた。市健康局、2 つの地域で活動する団体の代表、警察の代表 1 人、運転手 1 人、疾病介入専門家 1 人、2 人の地元クリニックの職員が会合を持ち、梅毒の増加とそれに対する対応が話し合われた。会合の翌週から 2 ヶ月間週 2 回の割合で、この地域に出向き活動をパンフレットやコンドームの配布、情報提供の依頼などを行った。会合から 2 カ月たった 6 月からは出張車で活動を行い、地元の医師にはスクリーニングをお願いした。活動はこの地域で一カ月以上患者の発生がみられなくなり、かつサーベイランス上明らかな梅毒患者の報告増加がみられない 9 月まで続けられた。期間中通常の接触者調査では見つけれない 2 名を含む 69 名が確認された。

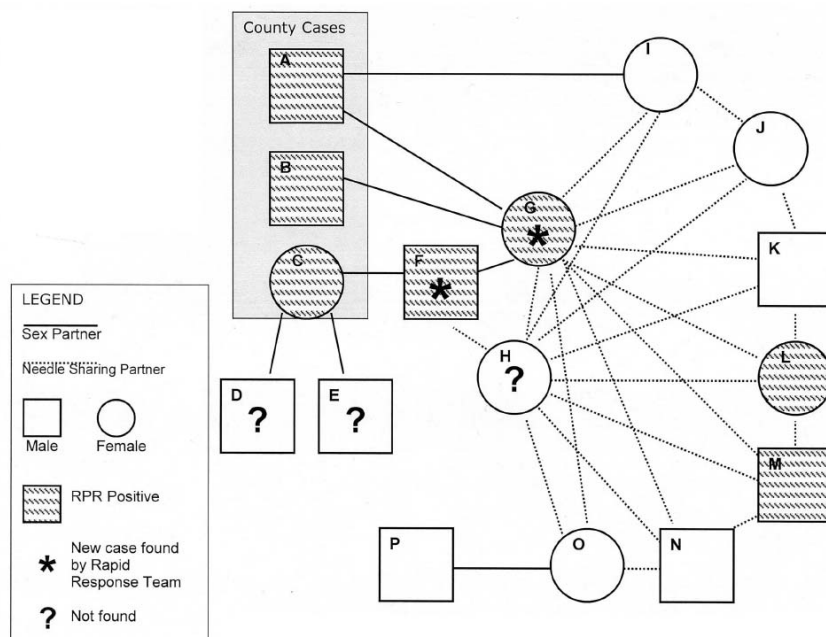


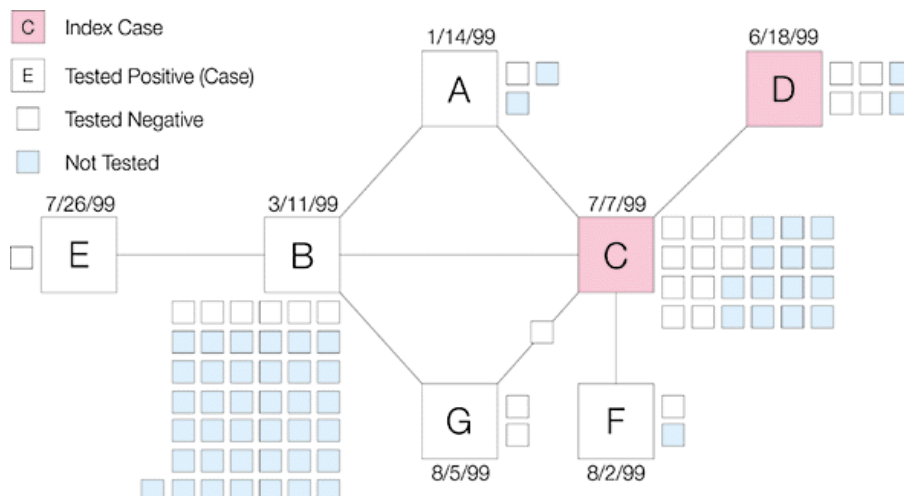
Fig. 1. High-risk syphilis network encountered by syphilis Rapid Response Team at a high-risk venue based on sex partner meeting location, Baltimore, MD, December 2000 to September 2001. Anne Arundel County syphilis cases (in shaded box on left) provided information on five sexual contacts met at the target location in the context of prostitution. Additional network connections were discerned through interviews of RPR positive individuals (F, G, L, and M). Two members of the network (F and G) were new cases of syphilis not found through standard field investigation.

Joshua MM, Jonathan E, Sheridan M, et al. Responding to a community outbreak of syphilis by targeting sex partner meeting location: an example of a risk-space intervention. Sex Transm Dis 2003, 30, 533-8.

<ネットを通じた広がりの調査>

サイバースペースを通じての梅毒アウトブレイクの追跡

1999年6月と7月にサンフランシスコ保健所は2例のゲイの早期梅毒の症例の報告を受けた。保健所のインタビューから二人はスクリーンネームだけでやり取りをするインターネットのチャットを通じて過去1年間に多数の相手と性交渉をもっていたことが判明した。このサイトを運営しているプロバイダーと連絡を取ったが、個人情報には連邦政府の召喚状がなければ出せないと言われた。そこでこのチャットルームで意識啓発キャンペーンを行いたいとプロバイダーに依頼したところ、ゲイ、バイセクシャル、性転換者にポータルを開いているあるマーケティング会社を紹介してくれた。2週間にわたり、この会社の職員がこのインターネットチャットに入り、数百人のユーザーに梅毒患者の集積を知らせ、身に覚えのある人は医療機関を受診するようにとの情報を流してもらった。また、保健所は2症例が性交渉をもった相手のスクリーンネームを流し、返信してもらうように訴えた。後日保健所に検査に来た人のスクリーンネームも照合された。加えて保健所はゲイの診療を行っている地域の医師に梅毒に対する警告を伝えた。これらの活動を評価するため、インターネットポータルの職員にこの情報キャンペーンの適切さについて投票してもらった。また、保健所を訪れるゲイの人数を週ごとに見ていった。そして性交渉の相手を見つけていく時のインターネットの役割を割り出すため、保健所を訪れたゲイを対照として奨励対象研究を行った。7つのチャットルームから89人が浮かび上がり、うち33人が検査を受け、7人で梅毒感染が確認された。症例対象研究ではネットを使用して性交渉相手を見つけているのは梅毒患者のほうが多かった(4/6=67%、6/32=19%、OR=8.7、p=0.03)。このキャンペーンで7月に保健所を訪れたゲイの数が18%上がった。また、71%(25/35)のインターネットポータル職員がキャンペーン情報は有益だったと答えた。



Klausner JD, Wolf W, Fischer-Ponce L, Zolt I, Katz MH. Tracing a syphilis outbreak

through cyberspace. JAMA. 2000 Jul 26;284(4):447-9.

<刑務所での調査>

米国アラバマ州には 1000 人規模の 2 つの刑務所(A,B 刑務所)と HIV 感染者用の 275 人規模の 1 つの刑務所(C 刑務所)があり、入所時、入所中は 3 年に 1 回、出所 30 日以内に梅毒のチェックをするシステムがある。しかし刑務所間に移動が頻繁に行われており、その移動の際にはチェックは行われていなかった。通常 1 年間に 5 例以下の梅毒しか報告されていなかったが、1998 年 10 月に 7 例の報告があり、公衆衛生消防士(?)が症例に対し性的接触者の数、名前、性交渉の回数、地理的情報、臨床情報、HIV の状態などの情報を聞き出した。1998 年 10 月から 1999 年 1 月までに合計 39 例の早期梅毒患者が同定された。年齢中央値は 32 歳(範囲 25-59 歳)で、平均入所期間は 66 カ月であった。A と C 刑務所で行われた 1999 年の 1 月に行われた全入所者に対する検査では 28%の人が梅毒の罹患または既往があった。症例の 36%は接触者検診、26%は定期健診、26%は全入所者検査で見つかった。入所者 10 万対の早期梅毒感染率は 1337 であり、人口 10 万対でみたアラバマ州の 16.5、全米の 7.3 より高い値であった。8 例の感染源と考えられる症例が見つかった。2 例は他の刑務所から移動してきた人、2 例は留置所(警察の)から戻ってきた人、2 例はほかの刑務所や留置所との関係がなかった。感染者は非感染者より 32 倍刑務所間での移動を経験していた。また、3 例では治療開始が診断から 4~6 週間遅れていた。

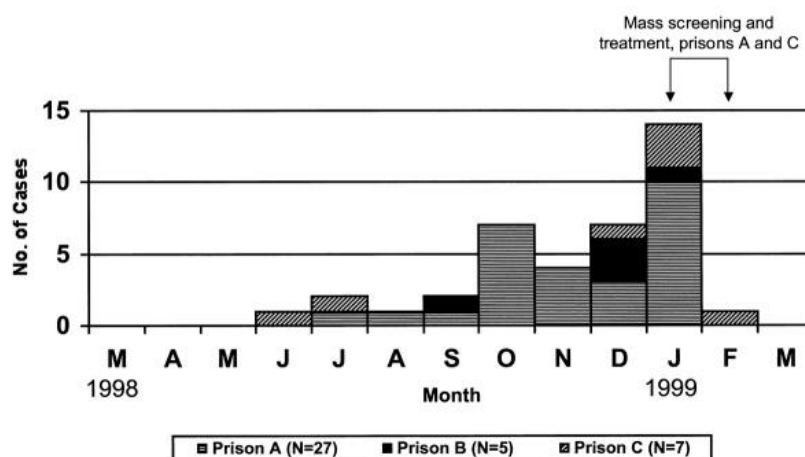


FIGURE 2—

Early syphilis cases, by prison and month of diagnosis: Alabama prison syphilis

outbreak, March 1998–March 1999 (N = 39).

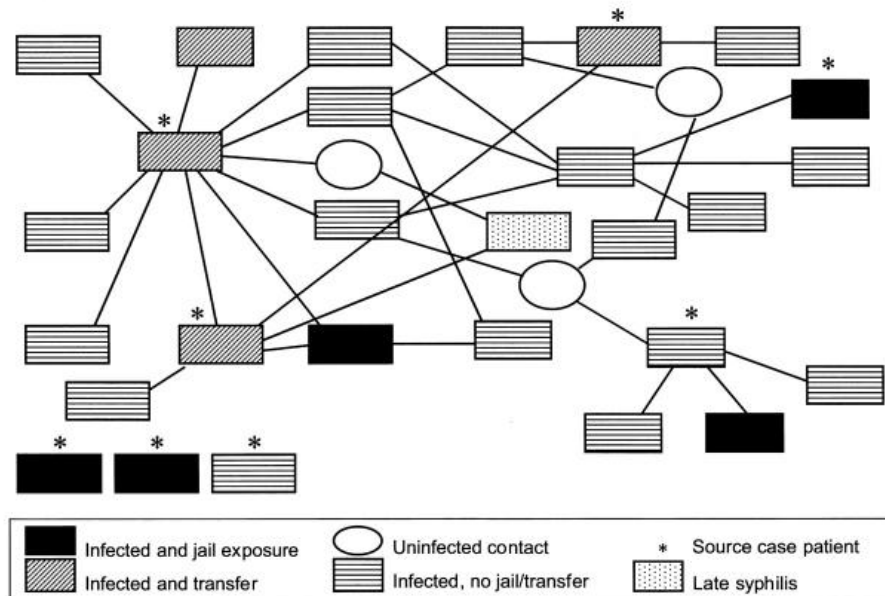


FIGURE 3—

Prison A sexual network, syphilis case patients, and selected uninfected contacts: Alabama prison syphilis outbreak, March 1998–February 1999.

Wolfe MI, Xu J, Patel P, et al. An outbreak of syphilis in Alabama prisons: correctional health policy and communicable disease control. *Am J Public Health*. 2001, 91(8), 1220-5.